



MIKI
INTERNATIONAL
ASSOCIATION

VOL.42

2011.7

平成23年7月

三木市国際交流協会

三木市国際交流協会総会・15周年記念公演



若葉の鮮やかな季節、清々しい風が心地良い5月13日(金)10時から、平成23年度三木市国際交流協会総会及び、第15回記念公演を三木市教育センターで開催しました。会場には、協会の会員など70名を超えるみなさんに参加いただきました。

総会は前田会長のあいさつに続き、公務多忙の藪本市長に代わり井上理事、そして松本教育長からもご祝辞をいただきました。衆議院議員高橋昭一様のご令室もご出席いただきました。なお、会計監査は有野理事、進行は安井理事、閉会あいさつは堀田副会長でした。

議長、前田会長の司会で進められた議事では、平成22年度事業報告及び決算報告、平成23年度事業計画及び予算案について原案通り承認されました。

なお、所属する団体の組織替えや人事異動による新しい理事を含めて25名の皆さんに就任いただくことになりました。(理事名簿は3ページに掲載しています。)

総会のあとの記念公演では、ペルー人兄弟デュオ“フローレスデュオ”に「アンデスの風を感じて」と題して、ペルーの話を変えながら、民族楽器の演奏や歌唱を披露していただきました。21年前に来日されてから国内外で数々のコンサート活動をされる一方、民族楽器の教室を開催し、伝統音楽の普及に力を注がれています。また、ペルーのクスコにある障害者孤児施設の支援活動も活発にされています。(公演内容は4ページに掲載しています)

The MIA General Assembly attended by 70 people was held on May 13 at the big conference room of the Miki city Education Center.

MIA President Maeda made an inaugural speech. Then Deputy Inoue made a congratulatory speech on behalf of Mayor Yabumoto. Superintendent Matsumoto made his congratulatory speech. Ms. Yasuko Takahashi participated on behalf of Mr. Takahashi, a member of the House of Representatives.

MIA General Assembly approved the events and the accounting report on 2010. It also confirmed the events and the budget of 2011 later.

The special guest was the "Flores Duo" two Peruvian brothers. They gave a great performance playing folk instruments and singing some Latin songs. While living in Japan for 21 years, they have had many concerts in and out of Japan. Also they have been trying to promote Peruvian music by teaching people in Osaka. Moreover they support an orphanage for the disabled in their home town, Cuzco, Peru. You can find a story on page four of this newsletter.

総会あいさつ

前田君司会長



お祝いの言葉

松本明紀教育長



本日は「平成23年度三木市国際交流協会総会」にご出席をいただき、ありがとうございます。当協会は今年で15周年を迎えています。これひとえに変わらぬご支援とご協力をいただきましたご来賓をはじめ、会員の皆様のお陰だと感謝申し上げます。

さて、日本は東北大地震、原子力発電所の事故で大変な時期であります。当協会も復興を願いながら従来の事業を進めております。

昨年度は広報誌MIAでもご承知のとおり、ことばの教室では多くの方に受講いただき、「国際理解講座」は3回実施しました。また、「クリスマスパーティ」では160名、森林公園で開催した「クールMIKI」では過去最高276名の参加をいただき、盛会裏に終えました。そして「金物まつり国際チャリティバザー」などを催し、収益は国連関係に寄付しました。本年度は一部を東日本大震災被災地の方への義援金にしたいと考えております。

また、姉妹都市交流としては会員の大学生がコロナ市へ訪問し、三木市に訪問された市議員イアンリッチ氏や学生のお宅でお世話いただきました。

三木市においても外国人との出会いがますます多くなっております。言葉や文化の相違を認識し、お互いに配慮しながら、当協会の活動をさらに充実させねばと思っております。

本日の議案について慎重に審議いただくとともに、今後のご協力をお願いしてあいさつといたします。

本日は三木市国際交流協会総会の開催、おめでとうございます。

さて、グローバル化と言われ久しいのですが、教育委員会では、現在アメリカなどからの5人のALT（外国語指導助手）を中学校に配置しています。この制度が始まり20年以上たちますが、今年度から小学校でも外国語活動が始まり、英語を学習するだけでなくALTとの交流の中で外国語アレルギーを持たず、将来、世界で活躍する人材の育成に努めております。

また、三木市にも大勢の外国人や関西国際大学には多くの留学生がおられます。両親の仕事で来日されたお子様が小学校や中学校に通われている場合もあります。そこで、教育委員会としては日本語指導、県の教育委員会と相談し、通訳を介して支援をする。そして、日本文化を理解してもらいながら、友達づくりをする。昨年は平田小を研究拠点とし、スムーズにお子様を受入れる体制を作りました。

このような状況のもと、この協会は市内の外国人を繋ぎ、交流する組織であります。昨年参加しましたクリスマスパーティにはいつもにもまして多く外国人が参加され、和気藹藹のもと楽しい交流が進む会でありました。そのほか、ことばの教室、国際理解講座や、姉妹都市交流などさまざまな事業を企画、進められておられることに心から敬意と感謝をする次第でございます。

結びになりましたが、当協会の発展を祈念し、ごあいさつといたします。

平成22年度収支決算

収入額	8,378,479円
支出額	7,800,092円
差引額	578,387円

	収入額(円)		支出額(円)
会費	908,000	会議費	5,672
補助金	3,287,000	事務局費	3,594,443
事業収入	3,607,477	事業費	4,099,977
繰越金	576,002	予備費	0
寄付金	0	積立金	100,000
雑収入	0		
計	8,378,479	計	7,800,092

平成23年度予算案

収入額	7,722,387円
支出額	7,722,387円
差引残高	0円

	収入額(円)		支出額(円)
会費	840,000	会議費	10,000
補助金	3,203,000	事務局費	3,647,418
事業収入	2,600,000	事業費	3,414,969
周年事業繰入金	500,000	周年事業費	500,000
繰越金	578,387	予備費	50,000
寄付金	0	積立金	100,000
雑収入	1,000		
計	7,722,387	計	7,722,387

お祝いの言葉

井上茂利理事



本日は三木市国際交流協会総会・15周年記念公演の開催、心からお慶びを申し上げます。

皆様におかれましては、市政の運営に常日頃からご協力をいただいております、誠にありがとうございます。

国際交流協会におかれましては、国際理解や国際交流の取り組みを進められておりますことに、深く敬意を表わすとともに感謝を申し上げます。

さて、3月11日発生した未曾有の大震災については、三木市としても義援金を日本赤十字社に送ったところです。また、市民の皆様の気持ちのこもった救援物資等を南三国町に届けております。さらに世界各国からは義援金のみならず、人的支援も頂いています。国際間の絆が重要だと認識しています。

一方、世界ではリビアの政変などで紛争が絶えませんし、アルカイダのウサマビンラディンの殺害により、報復といった悪の連鎖が起きかねません。それらを断ち切り、世界平和のためには人類が相互に理解をし、助け合いの精神を持ち、思いやりや感謝の念が重要だと考えます。

三木市においては、約1000名の外国人の方との交流を一つの発端として世界への交流を図り、世界への支援が必要な時には行き、また日本が必要な時はしていただくなど、互助の精神や相互理解の精神の下、交流の輪を広げていくのが不可欠だと思います。

今後も協会のますますのご発展と皆様のご健勝とご多幸をお祈りし、あいさついたします。

メッセージ

三木市長 藪本吉秀



平成23年度三木市国際交流協会総会のご開催を心よりお慶び申し上げます。

日頃のお取り組みに感謝申し上げますとともに、貴協会のますますのご発展と皆様のご健勝とご多幸をお祈りいたします。

メッセージ

衆議院議員 高橋昭一



平成23年度の総会・公演のご盛会を心よりお慶び申し上げます。

日頃より、市民のあいだに国際意識を高め、国際関係の発展と改善にご尽力賜り、心より感謝申し上げます。

世界的に有名な南アメリカ音楽の独特の響きに皆様、心癒されていらっしゃると思います。

本日、ご参集の皆様の今後ますますのご多幸とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

平成23年度国際交流協会役員（敬省略）

会長	前田君司
副会長	堀田康郎・西谷仁孝・萬谷恵子
理事	奥川正之・永田二郎・中尾司郎 藤本守・奥野峯子・河合正司 三村広昭・佐々木良憲・濱名篤 安井由次・富田哲浩・安田邦夫 山本茂之・藤原大輔・中西眞佐子 芝篤志
監事	有野勇・土肥勝彦
顧問	藪本吉秀・松本明紀・岡田保

以上の方々に就任いただきました。

平成23年度事業計画(7月~3月)

月・日	事業	月・日	事業
7月10日	外国人とふれあうDAY!	11月 4日	国際チャリティバザー最終整理
8月22日~ 29日	バイセリア市民訪問団プログラム	11月 5日~ 6日	金物まつり協賛国際チャリティバザー
9月 1日	チャリティバザー物品受付開始	11月25日	広報誌MIA43号発行
9月11日	第2回国際理解講座	12月11日	2011クリスマスパーティ in Miki
9月25日	日本語クラス研修バス旅行	1月15日	第3回国際理解講座
10月12日	国際チャリティバザー準備	2月 5日	第4回国際理解講座(英語落語)
10月19日	国際チャリティバザー準備	3月 2日	広報MIA44号発行
10月23日	外国人による日本語スピーチ大会	3月11日	ことばの教室ジョイント・ミーティング
10月26日	国際チャリティバザー準備	3月23日	第2回理事会

アンデスの風を感じて by フローレステデュオ



オープニング曲は「VALLE DE CAMPOS FERTILES(豊かな里)」。兄弟デュオの息のあった演奏は会場内に響き、参加者の皆さんは異郷アンデスへ誘われました。

「三木市国際交流協会創設15周年、おめでとうございます。」兄フレディ氏の流暢な日本語でのあいさつと自己紹介。ペルー南部高原、インカ文明で繁栄したクスコ(標高3400m)の出身で、21年前に来日され、今では日本は第二の故郷となりました。2曲目は日本の唱歌「ふるさと」とペルーの曲をアレンジし、民族楽器*ケーナとサンポーニャで「TODOS VUELVEN(ふるさと)」を演奏されました。

日本人観光客でにぎわう世界複合遺産マチュピチュはクスコにあり、その近くのウルバンバ(聖なる谷)の空にきらめく星を思い出しながら創作された「RIO DE ESTRELLAS(天の川)」を*チャランゴの伴奏で美しく歌い上げられました。そして、日本人なら一度は耳にしたことのある「SE LLAMA FUJIYAMA(その名は富士山)」に「荒城の月」のメロディを挿入、日本語で歌唱されました。優しい歌声に懐かしさを覚え、古きよき時代に思いを馳せました。

次は「CONDOR PASA(コンドルは飛んでいく)」でした。以前サイモン(アメリカ人歌手)がペルーに住んでいた時、ペルーの音楽に英語の歌詞を付け、彼のヒット作となりましたが、その英語をスペイン語に訳した歌を披露。やはりスペイン語がしっくりしていました。

ラスト曲は「JIPI JAI(やった!)」。ペルーの音楽にヨーロッパ、アフリカから来た音楽が融合したアフロペルーと新ジャンルの曲でした。*カフォンに座り、正面を叩き、弾むようなリズムに乗って会場全員で「ハイハイ(もしもし)」と大合唱。アンコールの大声援に呼応して、「HU MAUA GUENO(花祭り)」の演奏と手拍子でにぎやかに公演の幕を閉じました。



(カフォン)

- * ケーナ……………尺八に似た楽器。
- * サンポーニャ…旧インカ帝国の文化圏内で用いられる、閉塞した葦の管を吹いて音を出すパンパイプと呼ばれる管楽器の一種。
- * チャランゴ……南米アンデス地方周辺の民族音楽・フォルクローレに使われる40～60cmほどの弦楽器。
- * カフォン……………椅子という意味の木箱型の打楽器。その名のとおり椅子の様に座って正面の板をコンガの様な奏法で演奏する。



(サンポーニャ)

英会話クラス ☆講師と受講生のコラボレーション☆

～優しさを届けよう！東日本大震災被災地へ～



(2011.5.1神戸新聞で紹介されました)

幼い頃に祖父母から聞いた話は英訳文でも優しい気持ちにさせてくれます。

その優しさを三木市から世界へ発信するとともに、CDを販売し、東日本大震災被災地に義援金をお届けしたい！そんな思いで外国人英語助手の協力を得て、当協会員と共にCDを作成しました。

■絵本『Japanese Folk-Tales』500円

■朗読CD『舌切り雀／農夫の宝物』500円

*絵本とCDは事務局でお求めいただけます。ご協力お願いします。

第1回国際理解講座「アメリカってそんな国だったの?!」

6月12日(日)

大阪大学大学院准教授
杉田米行氏



開口一番、杉田氏の発せられた言葉にはインパクトがありました。「**ありとあらゆるものを疑いの目で見ろ!**」これは大学で教鞭を執られる氏の経験からのアドバイスです。入学してきた学生は、往々にして教科書主体の授業内容を鵜呑みにし、物事の裏を見ないと憂いておられます。そこで、学生には「大学教師の言うことは『ウソだ!!!』と思いなさい。」と指導されるようです。

アメリカ合衆国について、戦前・戦後の日本を絡めての話、アメリカ建国や独立宣言にまつわる話や現在の大統領選挙に至るまで、あまり知られていない話をしていただきました。

アメリカ人 ジョセフ・ナイの書物にある「日米安保は酸素のようなものだ。無くなって初めて、皆がその重要さ、大切さに気がつく。そして、アジア・太平洋地域が今後も成長・発展を遂げるために必要な酸素を生み出す巨大な供給装置こそが、日米安保そのものなのだ」を紹介し、現代の日米関係にも言及されました。

アメリカの公立学校の教室には国旗が掛けてあり、学生は右手を左胸に当て国家への忠誠を誓うほど愛国主義国のようにです。国歌「The Star-Spangled Banner(星条旗)」を歌ったホイットニー・ヒューストンのCDはヒットチャート上位に入るほどの人気というのも驚きでした。翻って日本の君が代ではと自問しました。

アメリカンドリームに憧れた世代に相応しい題材を選んでのお話でしたが、あっという間の2時間でした。参加された方々は熱心に耳を傾けられ、多くの質問が出ました。時間の関係で質問できなかつた方は個人的に氏の著書を一読三嘆してください。おそらく「アメリカってそんな国だったの?!」と呟かれることでしょう。

アメリカ国歌はノリがいい?

💡 イギリスの酒場で歌われていた威勢の良いメロディに歌詞を付けた。

アメリカ北部に有名大学が集中している?

💡 南部の上流社会の人々は、イギリスのジェントリー(上流階級)に憧れ子弟をイギリスの大学に送る一方で、北部にはピューリタン(清教徒)が多く、自主的に大学を作った。

アメリカンインディアンは衰退した?

💡 ヨーロッパ植民者が持ち込んだ病気が伝染し、多くが死亡した。

間接選挙?

💡 Founding Fathers(米国憲法制定者)が国民の意思がストレートに活かされず、選挙人の意思が反映されるよう意図的に制定した。

原爆投下は避けられなかった?

💡 莫大な技術開発費を費やしたものを使用しないと責められると思った当時のトルーマン大統領の非難逃れ。また、全世界にアメリカは決断力がある強い国だということをアピールするため。そして、見せしめ。

原爆投下の第1候補は京都だった?

💡 投下場所の条件は爆風が広がらない盆地。京都は条件に合っていたが、歴史的資産があり、投下により生じる弊害を考慮したため、第2候補の広島となった。ちなみに第3候補地の小倉には曇天で視界不良のため実施されず、やむなく長崎に投下された。

多言語交流!

Joint Meeting on March 6th 2011

3月6日(日)ことばの教室5カ国語11クラスを受講生150名中約90名が会し、クイズ、劇、歌や踊りなどで一年間の成果を発表しました。入門者から受講歴が長いベテランまでの趣向を凝らした出し物に、異言語のバリアーを超えて皆さん熱心に耳を傾けておられました。言葉はあくまでも交流の道具です。語学力をつけるには人前で発表するプレッシャーを克服し、度胸をつけることも重要。“Practice makes perfect(習うより慣れよ)”始めたばかりの方も、スランブ気味の方も、『継続は力なり』を合言葉に“ことばの交流”を楽しみましょう!



(講師の方々)

外国人異文化体験!

5月5日 別所公春まつり “武者行列”に参加して



昔のサムライはとても体力があると思いました。身に着けてみると、鎧は身動きが取りにくく、この状態で馬に乗るのも大変だし、わらじは足の保護にはならないようだし、昔の日本人は丈夫だとつくづく思いました。参加者やお世話をしてくださった方々は親切でしたし、行列中はよく似合っていると誉めてもらいましたし、非常に嬉しかったです。休憩所でいただいた柏餅はとても美味しかったです。故郷の家族と妻が写真を見て喜んでくれました。来年もまた参加したいです。

シリア人・男性

初めて甲冑を着させていただき、歴史の物語を聞いて、まるでその時代にいるようなちょっとタイムスリップをした感覚でした。特に自らを犠牲にした別所公の死にはとても悲しい思いがしました。どの時代、どの国でもやはり戦争は残酷なものです。私は三木の人々が三木城址を守り神として、永遠の平和を守ることを願ってやみません。

中国人・男性

中国にいる時から、私は日本のお祭り文化に興味を持っていました。今回三木市で行われた別所公春まつりに初めて参加して、とても良い経験ができました。地域の子供やお年寄りと一緒に関わることができたこと、お姫様の服装で行列に参加したこと、太鼓の音を聞いたこと、旧跡を観光したことなどが、私の心に焼き付けられました。また、大勢の地元の人やボランティアの方々「がんばれ!三木!おおー!がんばれ!日本!」と叫びながら大いに盛り上がりました。来日したばかりの私にとって、日本の伝統文化に親しみを感じながら、日本人との一体感を感じるきっかけになりました。

中国人留学生・女性

5月5日の朝、サムライの甲冑を着るという期待のせいか早めに目が覚めました。集合場所には私たち留学生以外にも、主催側の人々、現地の小中学校の学生や日本で働いている外国人たちがたくさん集まっていました。武者やお姫様の衣装で行列して歩く姿は非常に壮観で、通行中の人々も足を止めて見てくれたり、写真を撮ったりしていました。長時間歩いて少し疲れましたが、貴重な経験ができてとても嬉しかったです。今後またこのようなイベントがあったら参加したいと思います。

台湾人留学生・男性

ニュージーランド紀行

～復興への祈りを込めた千羽鶴～

塩井 順子

憧れのニュージーランド！航空券から宿泊先まで全て自分で手配した旅行を心待ちにしていた私にショッキングなニュース。“2月22日クライストチャーチに地震発生！”犠牲者の中には日本人の語学研修者も含まれていました。キャンセルできない格安航空券を手にもたらされながら、せっかくだけに行かなら何か役に立ちたいと思いついたのが千羽鶴進呈。早速、友人やMIAの日本語教室仲間に声をかけ、外国人の手による鶴までさまざまな鶴が集まりました。飾りと英語メッセージをつけて準備万端！



被災地・クライストチャーチでは、壊れた家が目につき、ステイ先は液状化現象でドアの開閉は困難。教会や領事館のある中心地はまだ立ち入り禁止地区でしたので、千羽鶴はステイ先の方が領事館の出張所へ届けてくださり、やっと肩の荷が降りた感じがしました。震災復興のエール的一端になれば…と祈りながら。

2週間の旅行で行く先々でさまざまな出会いと別れがありました。親切な地元の人々や他国からの旅行者との交流が、MIAの日本語クラスで外国人市民との今後の関わりにきっと活かされるだろうと思いつきながら、この旅を終えました。

ネパールからの便り

～海外で日本語支援をする協会員～

岡田 猛

5月からネパールの首都カトマンズの日本語学校で日本語支援をしています。学校と言っても公のものでなく、ビルの2・3階にネパール人経営の教室と事務所があるだけの小さなものです。学校からは宿泊の部屋を提供してもらっただけで、渡航費や生活費全て自費のボランティア活動ですが、地元の料理を堪能し、人々と交流しながら充実した日々を送っています。

授業は朝と昼の2部制。朝7時から9時の授業は7月と10月に来日する若い人たち、11時30分から1時30分の授業は、すでに日本でネパール料理の経営やコックをされているご主人のもとへ行かれる奥様方対象です。皆さんとてもものんびりとしておられ、地元タイムで30分ぐらい遅れて始まります。英語もネパール語も話せない私にとって授業展開は大変。若い人の質問には電子辞書の英語をそのまま見せていますし、年輩の方にはネパール語の辞書で意味を理解してもらい、アイコンタクトや身振り手振りで意思疎通を図っています。その中で、受講生の方の上達が今の私にとって何よりの励みです。



日々の授業が勉強です。日本語クラスの皆さん、お互いにがんばりましょう！！

日本語クラスのニューフェイス！

学習者 市川佳真さん(中国出身)に聞きました！

Q：学習の目標は…

A：娘が2人いるので、家庭の中で日本語で会話ができるようになりたいです。また、4歳の娘がいろいろなことに興味を持ち始め「どうして？」と質問するので、自然な日本語で答えられるようになりたいです。

Q：学習の方法は…

A：「母としての日本語」、「主婦としての日本語」を特に勉強したいです。娘の成長に良い影響を与える絵本と一緒に読みたい。また、家族に美味しい料理が作れるよう、料理の仕方や調理道具の使い方の本を読む練習をしています。



過去に2年間、日本語学習の経験があり、ある程度の基礎がありますので、朗読などで読む力をつけています。クラス内の学習だけではなく、主婦同志の交流が出来るようになりたいです。

ボランティア支援者 池田典子

2011年度金物まつり協賛「国際チャリティーバザー」

11月5日

みなさまの**愛の一品**をご提供願います！
 いただく期間：平成23年9月1日～10月28日
 いただく場所：市役所4階 市民協働課内 三木市国際交流協会事務局
 電話：(0794) 89-2318

ご提供いただきたい物

衣料品(新品)	タオル・シーツ・ハンカチ・座布団カバーなど
家庭用品	台所用品(鍋・器など)・風呂用品・掃除用品・洗剤(大人気!)など
食品	コーヒー・紅茶・日本茶・てんぷら油・調味料・海苔など(賞味期限内のもの)
調度品	置時計・骨董品(茶器・盆・食器・陶器など)・弁当箱・文具
小型電気器具	ポット・湯沸かしポット・小型扇風機・ラジオなど
小物	ハンドバッグ・定期入れ・財布・靴・サンダル・玩具など
衣類(新品)・履物	スポーツウェア・下着シャツ・靴下・Tシャツ・カットシャツ・ブラウスなど

2010年度は多くのみなさまに善意の品物をいただき、また、仕分けや販売のボランティアにも関わっていただき、心よりお礼を申し上げます。お陰様でバザーでは、373,477円のチャリティとなり、UNHCR、UNICEF、三木市UNESCO協会、PHD協会、国際エンゼル協会などに寄付しました。今年は東日本大震災の被災地にみなさまのお気持ちを届けたいと思いますので、ご協力よろしくをお願いします。必要な場合は直接いただきにあげります。



15周年記念事業
「外国人による日本語スピーチ大会」
★★★ 出場者募集中! ★★★


- 日時：10月23日(日)13:00
- 場所：三木市役所 大会議室
- 原稿応募締め切り：9月20日(火)
- スピーチテーマ：母国の紹介／日本、三木市の印象、思ったこと、考えたこと／東日本大震災被災地へのメッセージ (3分程度)



金物まつり「国際チャリティーバザー」
ボランティア募集中!

- 10月12日(水)/19日(水) /26日(水) …準備ボランティア
- 11月5日(土) ……販売ボランティア

お手伝いくださる方、事務局へご連絡ください。よろしくお祈りします。



東日本大震災から4ヶ月が経過しようとしています。被災地の復興を祈るとともに、当協会では出来ることはないかと模索しつつ事業を進めています。さて、外国人学習者とボランティア支援者計40人の大所帯「日本語クラス」でのちょっと良い話を紹介します。3年間学習した中国人の方が、嬉しい置き土産を残して4月に帰国されました。紛失した全財産の入った財布が思いがけず手元に戻り、その感謝の気持ちを東日本大震災被災地への寄付で表されました。また、自転車の走行距離で募金額を決める活動を通して震災地への義援金を募ったアメリカ人女性もいます。彼らは三木市で受けた親切や優しさに対して恩返ししたいと言われていました。このように会員の皆様のご支援により水面に広がる環のように思いやりが波及していくことを実感し、交流活動の意義を再認識しました。今後もご支援とご協力のほど、どうぞよろしくお祈りします。

